

CLUSTERPRO

MC ProcessSaver WebEdition 1.0

for Linux

リリースメモ

© 2013(Apr) NEC Corporation

- ☐ ライセンス
- ☐ パッケージのインストール
- ☐ セットアップ
- ☐ マニュアル
- ☐ 補足事項・注意事項

はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC ProcessSaver WebEdition 1.0 for Linux（以後 ProcessSaver WebEdition と記載します）の動作に必要な手順について説明します。

（１）商標および登録商標

- ✓ Red Hat は、米国およびその他の国における Red Hat,Inc. の登録商標または商標です。
- ✓ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における、登録商標または商標です。
- ✓ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ✓ その他、本書に登場する会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
- ✓ なお、本書では®、TM マークを明記していません。

目次

1. ライセンス	1
1.1. コードワードの取得	1
1.2. コードワードの登録	1
2. パッケージのインストール	2
2.1. 動作環境	2
2.2. 使用パーティションおよび必要容量	2
2.3. 提供媒体	3
2.4. 依存パッケージ	3
2.5. ソフトウェアパッケージのインストール	4
2.6. ソフトウェアパッケージのアンインストール	5
2.7. ソフトウェアパッケージのリビジョンアップ	5
3. セットアップ	7
4. マニュアル	7
5. 補足事項・注意事項	7

1. ライセンス

1.1. コードワードの取得

本製品を導入する前に、あらかじめロック解除のためのコードワードを取得する必要があります。

製品添付の「コードワードについて」の手順に従って、コードワードを取得してください。

1.2. コードワードの登録

「コードワードについて」の「ライセンスツールのインストール」及び製品添付の「コードワード登録手順」の手順に従って本製品をインストールするマシンに、取得したコードワードを登録してください。

〔手順の概要〕

1. ライセンスツールのインストール

ライセンスツールをインストールします。

既にインストール済みの場合は本手順は不要です。

ライセンスツールは製品媒体の /Linux/licensetool ディレクトリ配下にあります。

2. コードワード登録ファイルの作成

コードワード登録ファイルを作成します。

既にファイルを作成済みの場合は本手順は不要です。

3. コードワードの登録

コードワード登録ファイルに取得したコードワードを登録します。

記述ミスなどが無い様に正確に記述してください。

4. コードワードの確認

コードワード登録ファイルに記載したコードワードが正しく登録されていることを確認します。

```
(例) # /opt/HA/license/bin/halkchecklicense -v UL4438-102  
      license OK
```

「license OK」と表示されることを確認してください。

2. パッケージのインストール

2.1. 動作環境

ProcessSaver WebEdition は以下の OS での動作を保証しています。

サポート対象ハードウェアは、IA32 および EM64T 搭載マシンです。

事前に OS のバージョンをお確かめのうえ、インストール作業を行ってください。

- Red Hat Enterprise Linux AS 3.0
- Red Hat Enterprise Linux AS 4.0
- Red Hat Enterprise Linux ES 3.0
- Red Hat Enterprise Linux ES 4.0
- Red Hat Enterprise Linux 5
- Red Hat Enterprise Linux 6
- Oracle Enterprise Linux 5
- Oracle Enterprise Linux 6

2.2. 使用パーティションおよび必要容量

ProcessSaver WebEdition で使用するパーティションと必要なディスク容量は、以下のとおりです。ご使用前にお確かめください。

使用パーティション	必要容量
/opt	約 1.0M バイト
/var	約 1.0M バイト

2.3. 提供媒体

ProcessSaver WebEdition の媒体は、メディア用の型番で提供されますので、別途、購入が必要です。以下の媒体からインストールしてください。

- ・ CD-R (MDL143810101-2)

2.4. 依存パッケージ

ProcessSaver WebEdition を使用する場合は、以下のプロダクトがインストールされている必要があります。

- ・ CLUSTERPRO MC ProcessSaver 1.0 for Linux 以降

2.5. ソフトウェアパッケージのインストール

1. ProcessSaver WebEdition の含まれる CD-R 媒体を CD-ROM(DVD) 装置に挿入してください。
2. mount(8) コマンドにより、CD-R 媒体をマウントします。
(/dev/cdrom は CD-ROM(DVD) 装置のデバイスファイル名)

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

3. rpm(8) コマンドにより、ProcessSaver WebEdition のパッケージをインストールします。

- 32bit OS (IA32) の場合

```
# rpm -ih /mnt/cdrom/Linux/option/web/rpm/clusterpro-mc-psweb-w.x.y-z.i386.rpm
```

- 64bit OS (EM64T) の場合

```
# rpm -ih /mnt/cdrom/Linux/option/web/rpm/clusterpro-mc-psweb-w.x.y-z.x86_64.rpm
```

4. rpm(8) コマンド、ProcessSaver WebEdition が正しくインストールされたことを確認します。

```
# rpm -qa | grep clusterpro-mc-psweb  
clusterpro-mc-psweb-w.x.y-z.*****
```

(注) シリーズで機能強化があるとバージョン番号 w.x.y-z の w,x,y,z が更新されます。

*****部分は OS のバージョンおよびインストールしたパッケージの名称に依存します。

5. マウントした媒体を umount(8) コマンドによりアンマウントします。

```
# umount /mnt/cdrom
```

6. 媒体を CD-ROM(DVD) 装置から取り出します。

以上で ProcessSaver WebEdition のインストールは終了です。

2.6. ソフトウェアパッケージのアンインストール

1. pcheck(1M) コマンドを起動している場合は、padmin(1M) コマンドにより pcheck(1M) コマンドをすべて終了してください。

```
# /opt/HA/PS/bin/padmin -f <SGfile> -c shutdown
```

- * <SGfile> には、pcheck(1M) 起動時の SG ファイル名をフルパスで指定してください。

2. rpm(8) コマンドを使用してアンインストールを行います。

```
# rpm -e clusterpro-mc-psweb
```

2.7. ソフトウェアパッケージのリビジョンアップ

旧リリースの ProcessSaver WebEdition を本リリースに上書きしてインストールする場合の手順です。

1. マシンを立ち上げ、スーパーユーザー(ログイン名 root)でログインします。
2. SG ファイル(デフォルトは /var/opt/HA/PS/conf/bin 配下)のバックアップを取得します。
3. pcheck(1M) コマンドを起動している場合は、padmin(1M) コマンドにより pcheck(1M) コマンドをすべて終了してください。

```
# /opt/HA/PS/bin/padmin -f <SGfile> -c shutdown
```

- * <SGfile> には pcheck(1M) 起動時の SG ファイル名をフルパスで指定してください。

4. ProcessSaver WebEdition の含まれる CD-R 媒体を CD-ROM(DVD) 装置に挿入してください。

5. mount(8) コマンドにより、CD-R 媒体をマウントします。
(/dev/cdrom は CD-ROM(DVD) 装置のデバイスファイル名)

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

6. rpm(8) コマンドにより、ProcessSaver WebEdition のパッケージを上書きインストールします。

● 32bit OS (IA32) の場合

```
# rpm -Uvh /mnt/cdrom/Linux/option/web/rpm/clusterpro-mc-psweb-w. x. y-z. i386. rpm
```

● 64bit OS (EM64T) の場合

```
# rpm -Uvh /mnt/cdrom/Linux/option/web/rpm/clusterpro-mc-psweb-w. x. y-z. x86_64. rpm
```

7. rpm(8) コマンドにより、ProcessSaver が正しく上書きインストールされたことを確認します。

```
# rpm -qa | grep clusterpro-mc-psweb  
clusterpro-mc-psweb-w. x. y-z. *****
```

(注) シリーズで機能強化があるとバージョン番号 w.x.y-z の w,x,y,z が更新されます。

*****部分は OS のバージョンおよびインストールしたパッケージの名称に依存します。

8. マウントした媒体を umount(8) コマンドによりアンマウントします。

```
# umount /mnt/cdrom
```

9. 媒体を CD-ROM(DVD) 装置から取り出します。

10. バックアップした SG ファイルを元の場所に戻します。

11. pcheck(1M) コマンドを起動します。

以上で ProcessSaver WebEdition のリビジョンアップは終了です。

3. セットアップ

ProcessSaver WebEdition を使用するためには、SG・セットアップ作業を行う必要があります。これらの手順については媒体添付のユーザーズガイドをご覧ください。

4. マニュアル

ProcessSaver WebEdition のマニュアルは PDF 形式で CD-R 媒体に含まれています。

マニュアル名	ファイル名
CLUSTERPRO MC ProcessSaver WebEdition 1.0 for Linux ユーザーズガイド	/Linux/option/web/manual/Linux_PSWE_readme.pdf
ProcessSaver WebEdition 導入ガイド	/Linux/option/web/manual/PSWE_guide.pdf
ProcessSaver WebEdition テンプレートガイド	/Linux/option/web/manual/PSWE_sample.pdf

CD-R 媒体は Microsoft Windows からアクセスできます。PDF ファイルを参照できるソフトウェアを使ってマニュアルをご覧ください。

5. 補足事項・注意事項

- ・ 本リリースでの強化内容については、ユーザーズガイドをご覧ください。

CLUSTERPRO
MC ProcessSaver WebEdition 1.0 for Linux
リリースメモ

2013 年 4 月 第 2 版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番地1号
TEL (03) 3454-1111(代表)



© NEC Corporation 2013

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙